

設計・生産におけるナレッジベースエンジニアリング～匠の技術を活用して開発設計をリードしろ～

開催期日:平成17年11月17日(木)

申込締切:平成17年11月10日(木)

主催:(社)精密工学会

企画:事業部会企画第1グループ

協賛(予定):大田区産業振興協会/SME東京支部/TAMA産業活性化協会/TAMA-TLO/応用物理学会/機械振興協会/軽金属学会/計測自動制御学会/自動車技術会/情報処理学会/電気加工学会/電気通信協会/電子情報通信学会/東京都金属プレス工業会/日本オプトメカトロニクス協会/日本金型工業会/日本機械学会/日本工学会/日本工作機械工業会/日本自動車工業会/日本設計工学会/日本塑性加工学会/日本ソフトウェア科学会/日本ダイカスト協会/日本鋳造工学会/日本溶接協会/日本ロボット学会/発明協会東京支部/東京湾岸地域大学間コンソーシアムによる社会人キャリア・アップ運営協議会(TOBAC)/日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会(JPSA)

近年、製造業において、高性能化、低コスト化、設計期間の短縮化、高品質化という過酷な条件の中での商品開発が要求されています。一方、昨今の社会情勢の変化から熟練技術者が減少し、熟練技術者たちの匠の技ともいえる技術、ノウハウの活用が一層難しくなり、2007年問題としてクローズアップされてきております。このような厳しい環境の中で、市場の勝者になるためには、開発設計、生産に、匠の技、ノウハウといったナレッジを活用するナレッジベースエンジニアリングが、他社をリードする鍵となるといえます。

そこで、本講習会では、開発の第一線でご活躍の方々を講師にお迎えして、設計・生産におけるナレッジ管理とその活用技術について解説して頂きます。蓄積したノウハウの活用方法についてご興味をお持ちの企業や研究所、学校関係者の方々、企画・設計・開発・生産に携わっていらっしゃる方々などにとりまして、うってつけの内容となっております。皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成17年11月17日(木)、9時30分～16時50分

会場 中央大学理工学部後楽園キャンパス 1号館1225室(〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27)

*後楽園駅(東京メトロ丸の内線、南北線)下車徒歩約5分 *春日駅(都営地下鉄大江戸線、三田線)下車徒歩約7分

*水道橋駅(JR総武線)下車徒歩約10分

☆会場 URL: http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_korakuen.html

司会:野中 紀彦(株式会社日立製作所)、香川 敏之(デジタルプロセス株式会社)

次第(予定)

時間	題目	内容	講師
9:30 ～10:45	【基調講演】デジタルマイスタの効果:ナレッジをコマンドに織り込む	匠の技術を表出させて、それをデジタル化したライブラリで公開しても、労力がかかった割には見る人が少ない。それよりも、そのナレッジを生産システムのコマンドに織り込んで、ボタンひとつでフリーターでも匠の技術が再現できるような手段が有効である。日本の今後の課題は、そのコマンド作成を任せられる中核人材の育成である。	東京大学大学院 工学系研究科 中尾 政之
10:45 ～11:40	設計力を強化するためのナレッジベースエンジニアリングシステム	設計者の役割は、ブランド力を維持するためのコアコンピタンスの強化や品質の作り込み、環境配慮設計など、益々重要となっている。これを支えるため、設計のナレッジを分析、体系化し、それらを活用できるナレッジベースエンジニアリング環境を紹介する。	株式会社日立製作所 産業・流通システム事業部 PLMソリューションセンタ Eco&PLM ビジネス推進部 廣 喜充
11:40 ～13:00	昼食		
13:00 ～13:55	自動車開発におけるデジタルエンジニアリングの進展	日産自動車では、デジタル化を更に発展させ、モノ造りのノウハウを3次元CADやCAMに構築する『V-3P』プロジェクトを開始し、その一番目の適用例で、開発期間を従来の半減となる10.5ヶ月に短縮する事が出来た。	日産自動車株式会社 第三車両開発本部 福士 敬吾
13:55 ～14:50	3Dを活用した自動車開発近未来像～3Dを使い倒す仕組み～	これまで3D開発を推進し、情報共有の促進によるフロントローディングを実現、物のやり直し損失を抑え、物造りのリードタイムでは効果をあげてきた。その反面、短い開発プロセスの中、原価低減・軽量化・性能向上・新規開発アイテム等、開発要求が質・量共に高度で厳しくなっている。今後の開発の課題は、『物造り前を如何に効率良く進められるか』である。その1つの鍵が、開発設計、生産に、匠の技、ノウハウといったナレッジを活用する事である。その一例を紹介する。	富士重工業株式会社 技術管理部 荒牧 英明
14:50 ～15:00	休憩		
15:00 ～15:55	3次元CADのナレッジ駆動型設計環境の実現	日々の製品開発業務の中に存在するナレッジを認識し形式化してシステムに紐込む。またこれらを共有化して再利用する。このようなナレッジマネジメントプロセスをどのように実現しているかについて解説する。	UGS PLMソリューションズ株式会社 プロダクト&インターストリマケティング部 日原 進介
15:55 ～16:50	3次元CADのナレッジウェア活用	今後の3次元CADの基盤となるナレッジウェア製品群は、エンジニアが有する知識の獲得・表現と再利用、さらにアイデア出し支援などにより製品知識を持つモデルの知的資産化を進めるものである。製品ライフサイクルの中で横断的に活用することで製品・プロセスの革新を実現するナレッジウェアの実例を紹介する。	ダッソーシステムズ株式会社 PLM サービスディビジョン 水谷 一成

定員:60名(先着順で定員になり次第締切ります)

参加費:会員(賛助会員および協賛団体会員を含む)20,000円、非会員30,000円【会員・非会員ともテキスト代含む】

学生会員 無料(ただし、資料ご入用の場合は、4,000円をご負担ください)

学生非会員 6,000円(テキスト代含む)

*参加費・テキスト代とも消費税を含みます。

資 料:資料のみ,または聴講者で2冊以上ご希望の場合,1冊4,000円

申込方法:下記申込書に必要事項をご記入の上,郵送,FAXまたは学会ホームページにて受け付けます.

申込締切:平成17年11月10日(木)

申込先:**(社)精密工学会**

(〒102-0073 東京都千代田区九段北1-5-9 九段誠和ビル 2F, 電話 03-5226-5191, Fax 03-5226-5192)
(学会ホームページ <http://www.jspe.or.jp/service/seminar/seminar.html> からも申込出来ます.)